



失敗例から学ぶ 感染症対策

相模原市保健所疾病対策課
2015 . Sep

各グループで 自己紹介

アイスブレイク



自己紹介
所属、名前

好きな動物（その理由）

■ 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎の原因



➤ <u>ノロウイルス</u>	<u>30%</u>
➤ ロタウイルス	30%
➤ 腸管系アデノウイルス	5~10%
➤ アストロウイルス	5~10%
➤ サポウイルス	5~10%
➤ その他	

ノロウイルス感染症 (感染性胃腸炎の原因の1つ)



< 大きさ > 約40nm

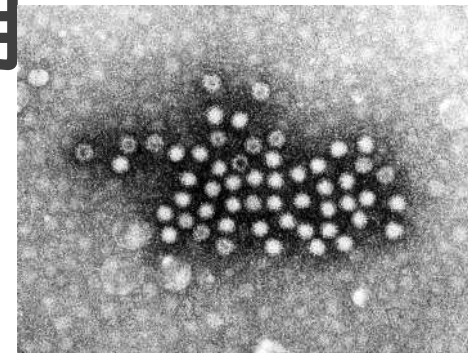
< 感染経路 > 経口感染

< 潜伏期間 > 1~2日

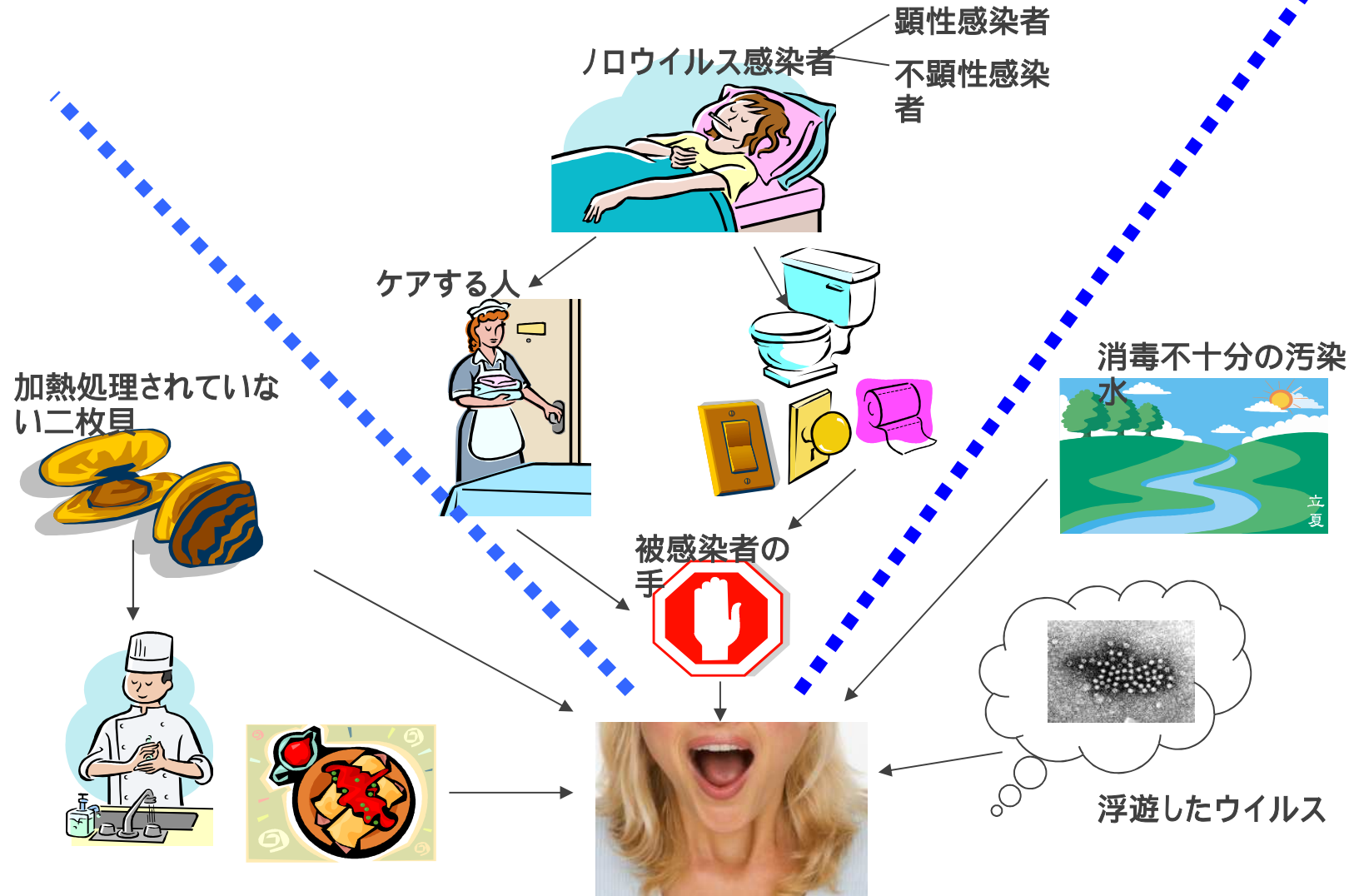
< 症状 > 腹痛、悪心、嘔吐、水溶性下痢、
発熱

< 治療法 > 対症療法 (水分補給、整腸剤)

< ウイルス排出期間 > 1週間~1ヶ月



感染経路



感染経路まとめ



食物 口
吐物・糞便 手・物(食物)
口
環境浮遊 口



それでは、
グループワーク
に入ります

吐物処理動画の 振り返り

登場人物の感染経路を見てみよう



- 相生さん（職員・嘔吐者）
子どもから感染
- 双葉さん（職員・吐物処理実施者）
吐物処理時に感染
- 千代田さん（職員・吐物処理サポート）
吐物処理時に感染
- 橋本さん（教室参加者）
車イスのタイヤについた吐物を手で触り、手洗いをしない手でドーナツを食べて感染
- 矢部さん（教室参加者）
橋本さんからもらったドーナツから感染

「息子の吐物がついた服を洗っているシーン」



問題点

- ◆ 子どもとタオルを共有した 資料 1
- ◆ 洗面台を消毒しなかった 資料 2
- ◆ 服を洗った後に手洗いをしなかった

資料 1

子どもと共有していたタオル。
実はこんなにウィルスがついていた！



症状のある人とは、
タオルを別にする
または、ペーパータ
オルに切り替える



資料 2

服を洗った後の洗面台の様子

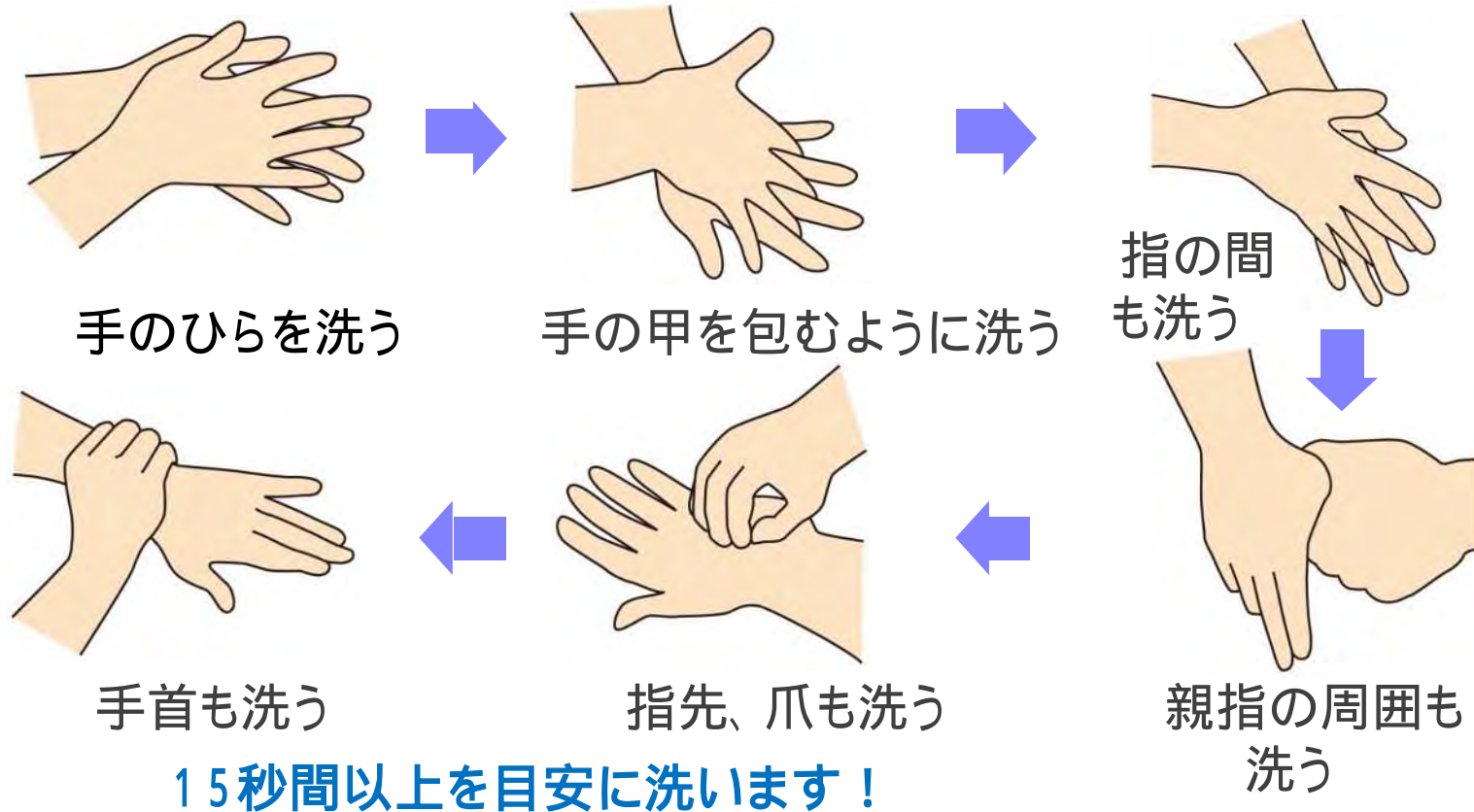


阿蘇市あまくら

吐物はきれいに洗い流せないため、洗面台の消毒も必要



ポイント：しっかり、こまめに 手を洗いましょう



- ・手洗い後すぐに清潔なタオルかペーパータオルで拭き取り、ペーパータオルはすぐに捨てます。
- ・外出先など手洗いができない環境では速乾式手指消毒用アルコール(市販されています)を携行することも対策となります。

ポイント：洗い残しの多い部分



出典：辻 明良(日本環境感染学会監修)病院感染防止マニュアル(2001)

ポイント：いつ手洗いをするの？



【職員】

利用者に触れる前

利用者に触れた後

下痢・嘔吐物の処理の後

【利用者】

食事の前

トイレの後

外出から帰った後

「相生さんの出勤前シーン」



問題点

- ◆体調不良時に休める環境でなかった
(休職の基準が決まっていなかった)
- ◆日ごろから職員全体の体調不良者の有無を把握するシステムがなかった



病原体の**媒介者**となるおそれがある

「嘔吐直後双葉さんが吐物処理準備のため、部屋を出たシーン」



問題点

- ◆参加者を吐物に近づかないように注意しなかった 資料3・4
- ◆換気をしなかった

資料 3

集まっている人を 遠ざけないと・・・



吐いた場所以外
にも広がってし
まう。



資料4

集まっている人を 遠ざけないと・・・



車いすの車輪
から、手に
ウィルスがつ
いてしまう



ポイント：換気の必要性



- 乾燥して舞い上がったウィルスを吸い込まないため
- 消毒に使用する次亜塩素酸ナトリウムから発生する『塩素ガス』を吸い込まないため

「吐物処理セットを探すシーン」



問題点

- ◆ セットの置き場がわかりにくい
- ◆ マニュアルの置き場がわかりにくい

ポイント：セット、マニュアル



- 必要な時に迅速な処理ができるよう、目につきやすい場所に置いておく

資料5

- 吐物処理のマニュアルはわかりやすく・誰でも動ける内容で作成する

資料 5

処理セットはわかりやすい場所に



- マスク
- 手袋
- エプロン
- シューズカバー
- 次亜塩素酸ナトリウム
- ぼろ布または新聞紙
- ゴミ袋
- バケツ



「吐物処理シーン 個人防護具」



問題点

- ◆マスクから鼻が出ていた
- ◆エプロンの長さを調整しなかった

「吐物処理シーン 身だしなみ」



問題点

- ◆ 髪の毛を束ねなかった
- ◆ 腕時計をはずさなかった
- ◆ 腕まくりをしなかった

ポイント：「サージカルマスクの 着け方」



悪い例

良い例については、別資料参照



腕に



あごに



鼻出し

「吐物処理シーン 吐物処理」

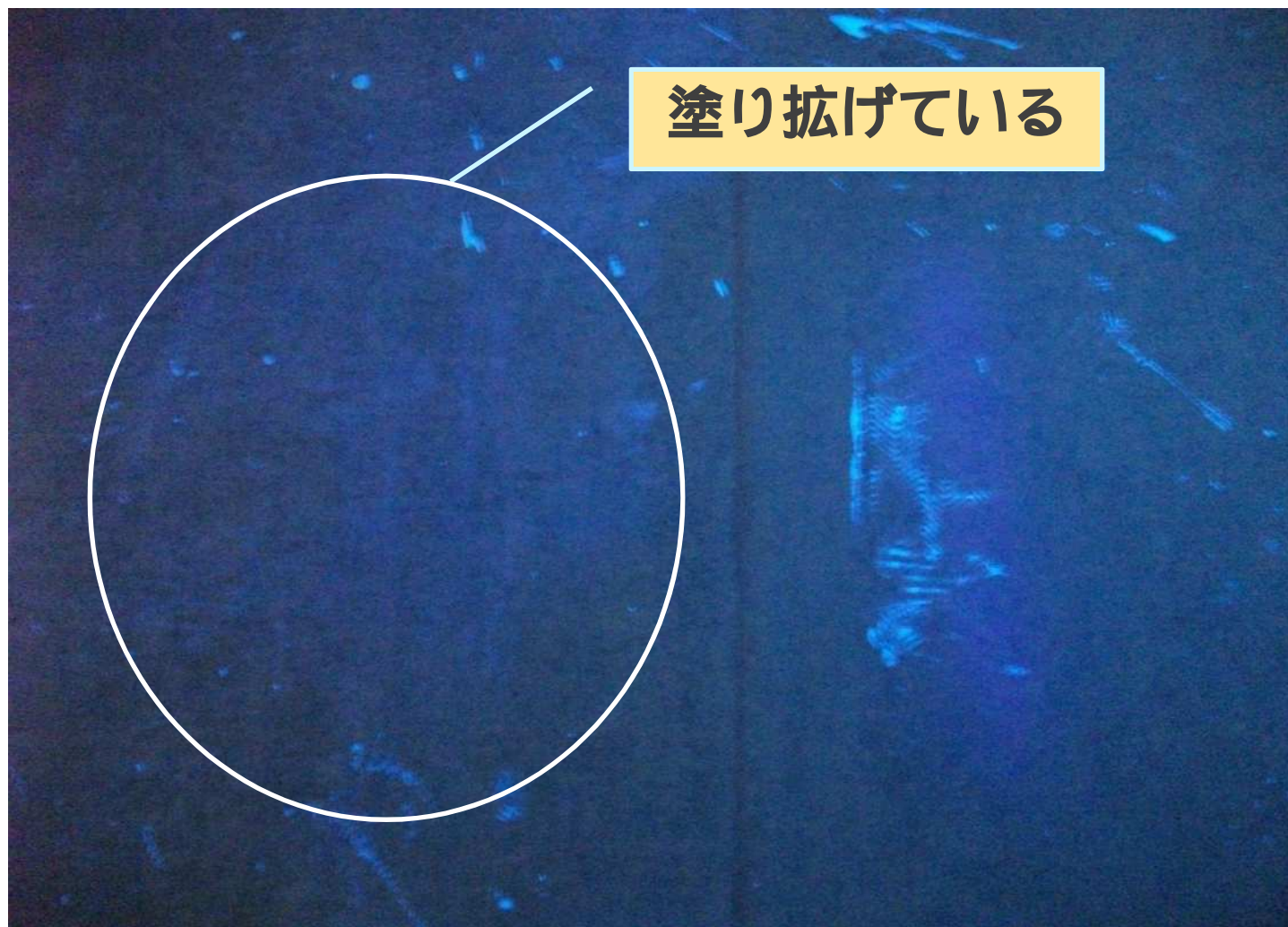


問題点

- ◆ 消毒液の濃度を確認しなかった
- ◆ 吐物撤去時にワイパー拭きをした
資料 6
- ◆ 消毒範囲が狭かった
資料 7
- ◆ 吐物を拭き取った雑巾を再利用した

資料6

吐物撤去時に ワイパー拭きをすると・・・



ポイント：正しい除去の仕方

外側から内側へ
一方方向に拭き
とる。
一度ふき取った
らゴミ袋へ

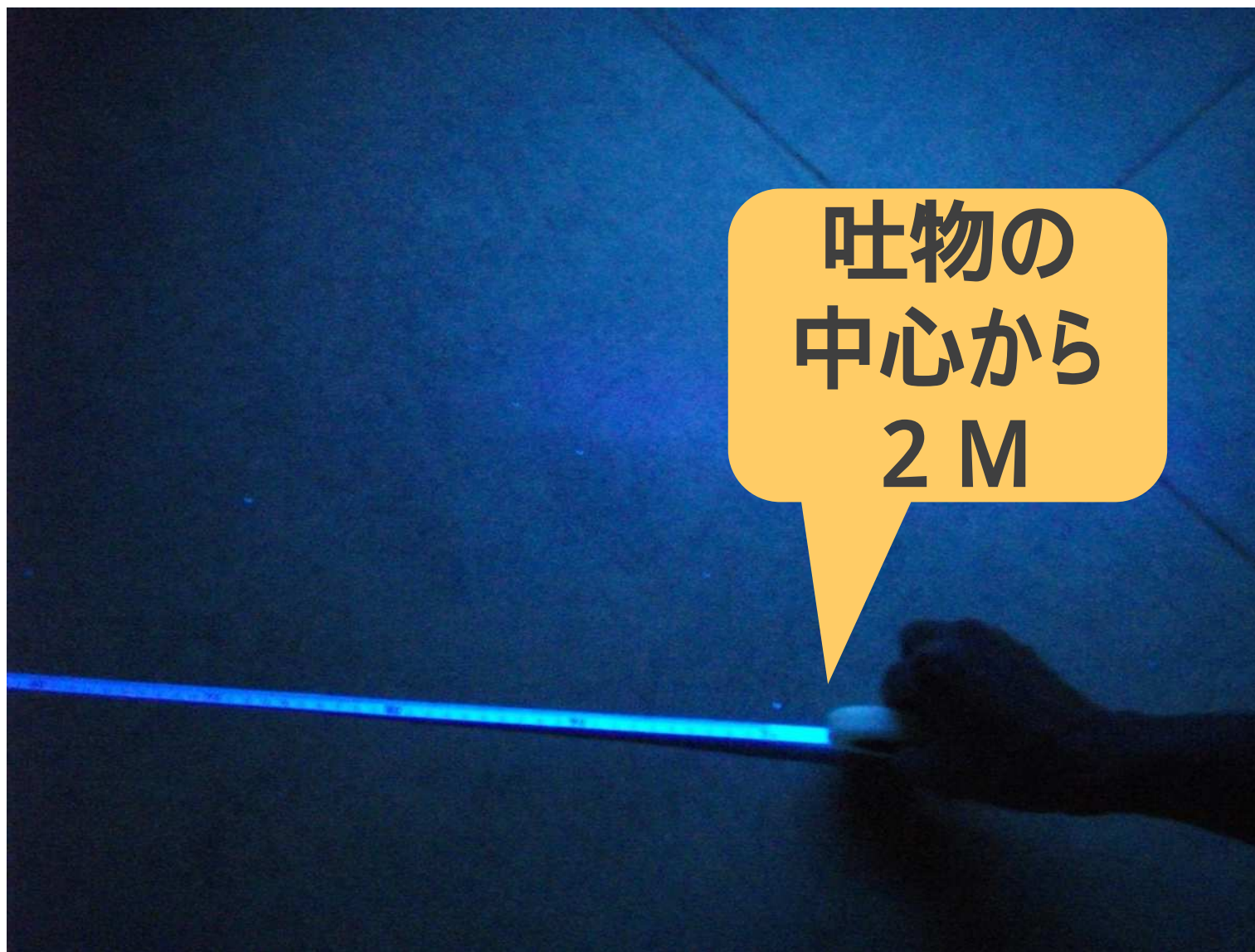


資料 7

飛沫はどこまで飛ぶのか・・・



清水市さがみはら



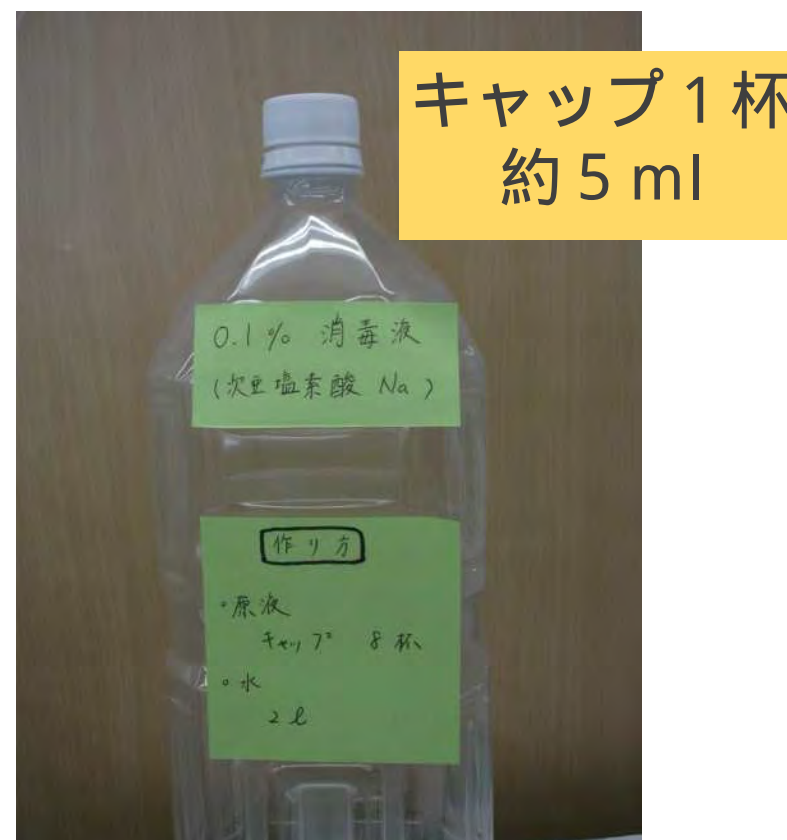
ポイント 消毒液濃度

◆吐物処理と環境消毒では濃度が違う

◆消毒液は誰もが
作れる工夫をする

吐物処理 0.1%

環境消毒 0.02%



消毒液の作り方



	原液の濃度	希釈	方法	用途
0.1%次亜塩素酸ナトリウム	5%	50倍	原液 10ml+水 500ml	嘔吐物や排泄物で汚染された場所、トイレの便座
	6%	60倍	原液 10ml+水 600ml	
0.02%次亜塩素酸ナトリウム	5%	250倍	原液 10ml+水 2.5ℓ	調理台、調理器具、床、ドアノブ、おもちゃなど (環境消毒)
	6%	300倍	原液 10ml+水 3.0ℓ	

ポイント 消毒液



- 消毒液は作り置きができない（塩素濃度が低下するため）
- 汚れがあると効力が低下する
- 高温や直射日光を避けて保管する

金属腐食性があるため、消毒後は水拭きが必要

ポイント：消毒液が使えない場所



- スチームアイロン：一般的なスチームアイロンのスチームは約100℃まで上がります。
- スチームアイロンを2分以上あてると表面が85℃になり、消毒効果があります。

「吐物処理シーン 吐物処理」



問題点

- ◆ひざをついて吐物処理をしていた
- ◆新聞紙についたウィルスを不活化させなかった
- ◆吐物を入れたゴミ袋を二重にせず床に置いた

吐物処理シーン 吐物処理後

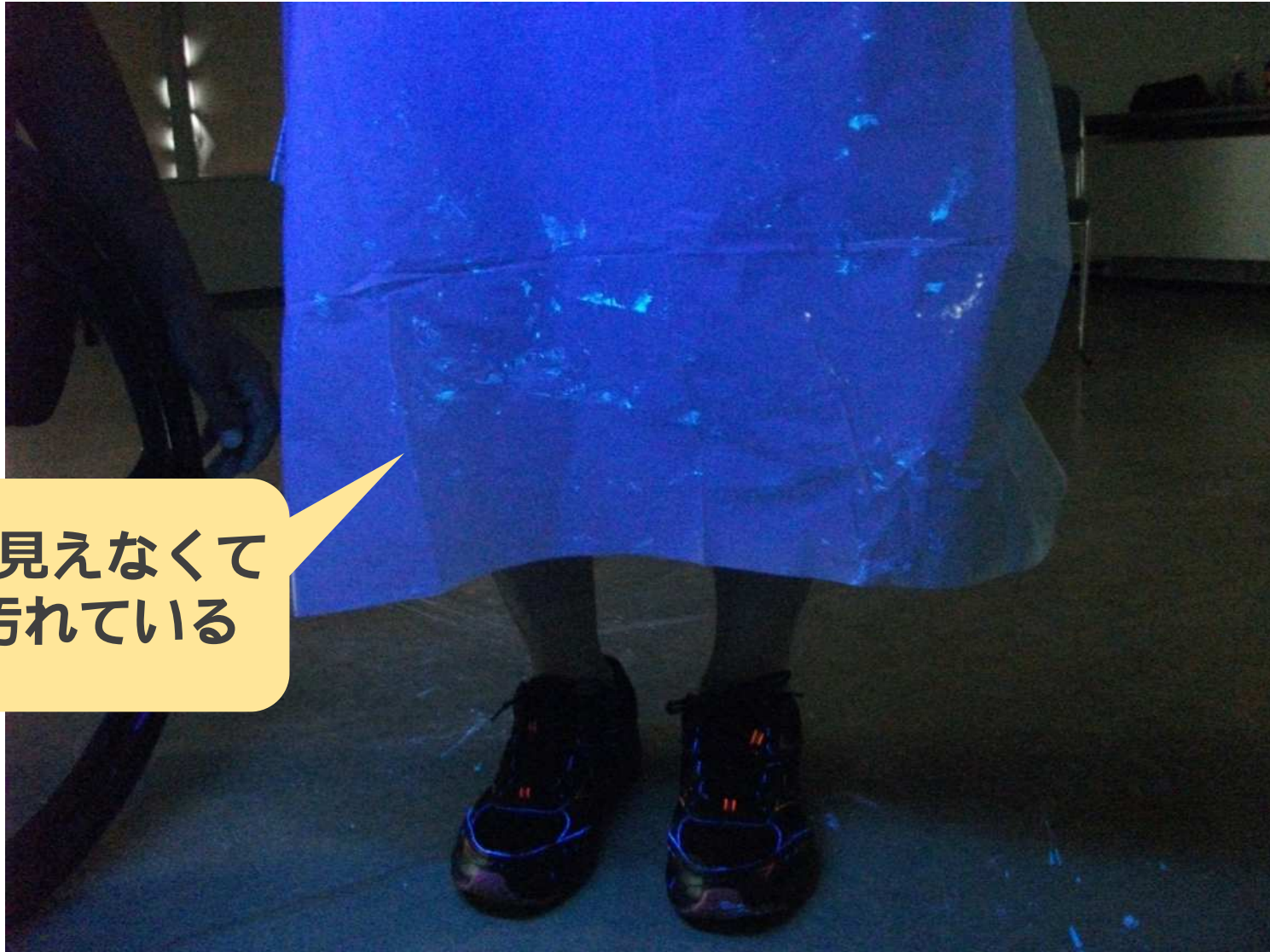


問題点

- ◆個人防護具を脱ぐときに汚染面に手が触れた
資料 8・9
- ◆ゴミ袋を通路に置いた
- ◆アルコール消毒だけで、手洗いをしなかった
- ◆ドーナツを食べる前に手洗いをしなかった
資料 10

資料 8

エプロンの汚染



目に見えなくても汚れている



脱ぐときは気をつけないと、
防護のためにつけた手袋で
汚染してしまいます

この手でドーナツ
を持って食べまし
た



登場人物の感染経路対策



- 相生さん
洗濯後、食事前に手洗い実施
- 双葉さん・千代田さん
適切な吐物処理時を実施。処理終了後に手洗い実施
- 橋本さん・矢部さん
ドーナツを食べる前に手洗い実施

その結果翌日の教室は・・・



- 職員、参加者とともに全員感染しなかった。
- 手洗いをしっかりとした富士見さんは、参加者と一緒に教室を楽しむことができた。

今日の話の3つのポイント



1. 迅速かつ正確な処理方法で対応する
2. 吐物処理キットを準備しておき、必要時に迅速に処理できるように備える
3. 処理を行う職員以外は近くに寄らないようにする。

お役立ち資料



◆吐物処理マニュアル

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/kansenyobo/31412/001068.html>

◆個人防護具着脱資料

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/kansenyobo/31410/index.html>

「平成26年度感染症研修会 『平常時からの感染症対策』の報告」